



～舞台ファームグループの取組み～

広域型農業者連携 × 多角経営 = 新たな価値！
「競争」から「共創」へ

株式会社舞台ファーム カット野菜工場



株式会社舞台ファーム 代表取締役 針生信夫

1. 舞台ファームの取組み

<株式会社舞台ファーム>

■所在地	仙台市若林区日辺字田中11番地
■代表取締役	針生 信夫
■設立	有限会社 舞台ファーム 2003年7月11日 株式会社 舞台ファーム 2004年8月20日
■資本金	5,000万円
■従業員	50名(グループ全体240名)
■業務内容	野菜:生産・販売(電解水農法) お米:生産・販売(玄米、胚芽米、白米、無洗米) 農産物加工・販売(カット工場)
■取得資格	全省庁統一入札参加資格・東北地域 仙台市中央市場青果市場売買参加者資格(青果部 第2-111号) 米、卸売販売資格 農業生産法人許可 認定農業法人資格 仙台市飲食店営業許可(仙台市(若保衛)指令 第0289号) エコファーマー認定資格

【名前】 ハリウ ノブオ
針生 信夫

【役職】

株式会社舞台ファーム 代表取締役
 舞台アグリノベーション株式会社 代表取締役社長
 株式会社みちさき 取締役会長
 株式会社旬の風 代表取締役
 株式会社東日本コメ産業生産者連合会 代表取締役専務



【生年月日】

昭和 37年 1月 3日 生 (53歳)

【経歴】

昭和55年 3月 宮城県立農業高等学校 卒業
 昭和57年 3月 宮城県立農業講習所 卒業
 平成15年 7月 株式会社舞台ファーム設立 代表取締役
 平成21年11月 農林水産省 マルシェ・ジャポン プロジェクト実行委員長
 平成22年 5月 東北経済産業局 農商工伝道師
 平成25年 2月 内閣府 食の6次産業化 プロデューサーキャリア段位制度 認定委員
 平成25年 4月 舞台アグリノベーション株式会社設立 代表取締役
 平成25年12月 国有財産東北地方審議会委員就任
 平成26年7月 仙台市認定農業者連絡協議会会長就任
 平成26年12月 国土交通省 東北圏広域地方計画改定有識者懇談会委員就任
 平成27年1月 宮城県総合計画審議会審議委員就任 その他役職多数
 平成27年4月 食の6次産業化プロデューサー 新段位最高レベルの「レベル5」取得

<舞台ファームグループ>

企業名	内容
(株)舞台ファーム	生産(米・野菜)、カット野菜、原菜、精米
(株)みちさき	水耕栽培(トマト、イチゴ、葉物類)
(株)旬の風	宅配寿司「銀のさら」店舗運営
e-フレッシュ(株)	カット野菜・業務用野菜
一般社団法人ステージパス	障がい者就労継続支援

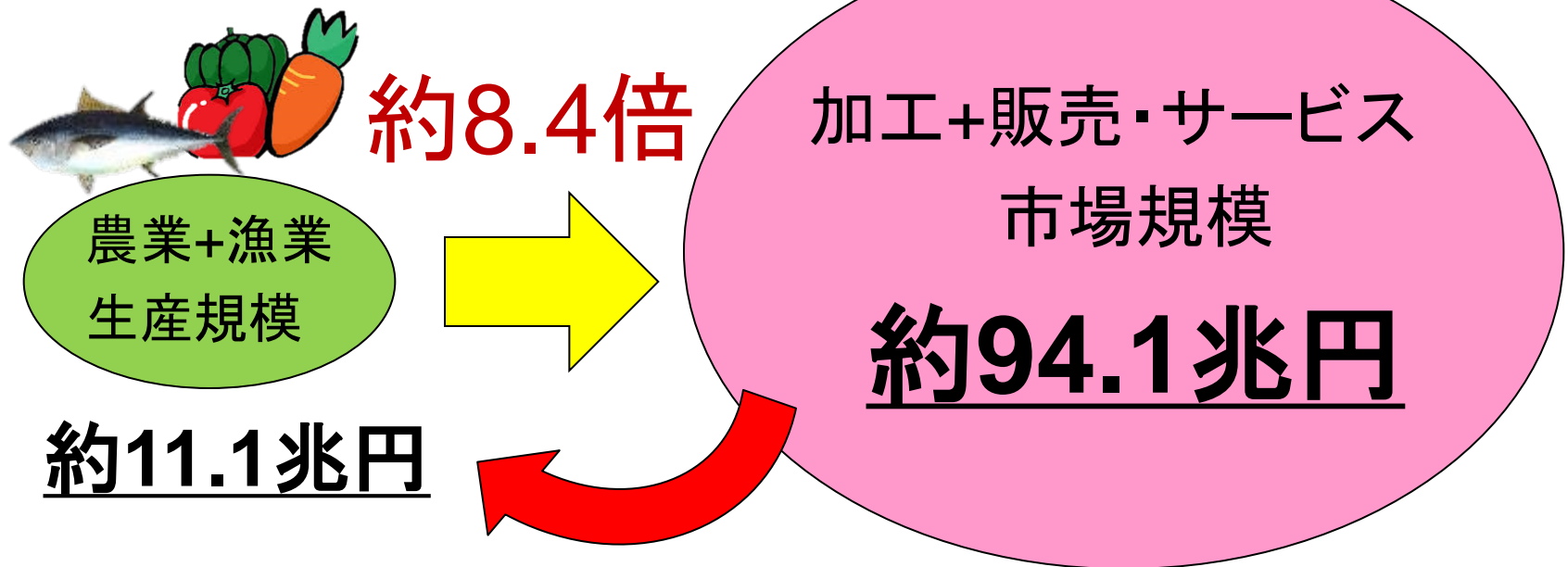
<舞台ファーム連携企業>

企業名	内容
舞台アグリノベーション(株)	精米・玄米流通
(株)東日本コメ産業生産者連合会 (日本豪農米生産組合)	広域農業者連携(コメ中心)
(株)みらくるグリーン	密閉型植物栽培(ベビーリーフ)
(株)舞台ファーム東京	首都圏・関東での営業販売

農業・漁業の「生産規模」の枠を超えるためには？

農業+漁業の生産規模＝約11.1兆円

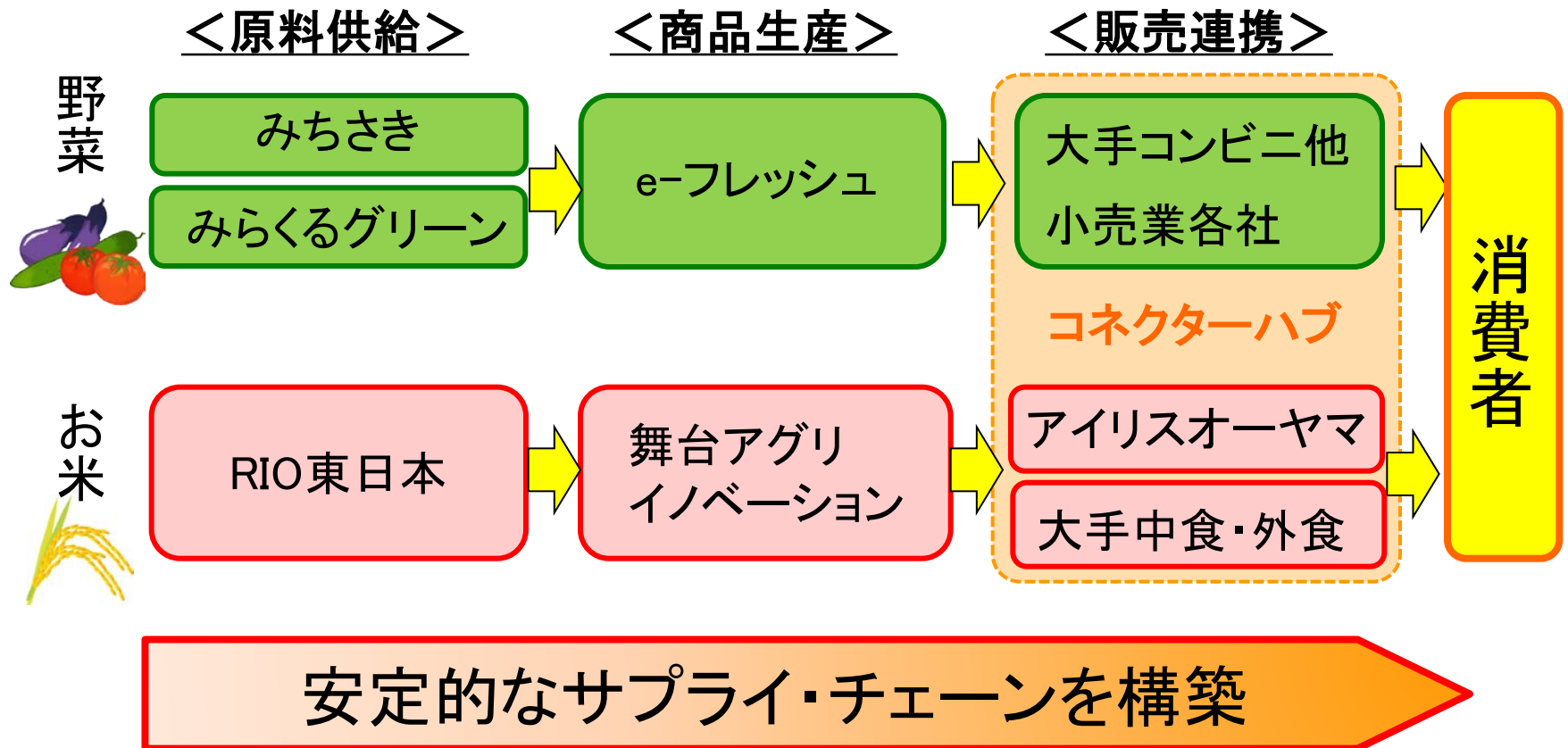
加工+販売・サービスの市場規模＝約94.1兆円



少しでもこの市場を獲得できればよい！＝付加価値

日本の食糧を安定的に供給できる仕組みを構築します

舞台ファームグループは、消費者の皆さまへの商品の安定的供給を行うため、野菜・お米それぞれの分野において、サプライ・チェーンの構築を目指しています。



新たな農業の担い手をサポートする“フレッシュ・コンサル”

新たに農業に携わる方を深くサポートしていくため、舞台ファームグループはこれまで培ってきたノウハウを活用し、農業者の課題解決を支援していく“フレッシュ・コンサル”をご提供しています。



優秀な人材を育成できていない…

ITと農業を連携できないか～遠隔操作～

固定費(電力・光熱費)を削減したい…

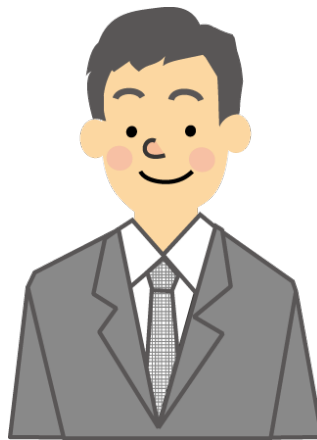
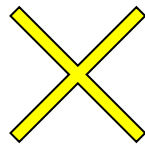
“農業者”を“経営者”へ育成させる仕組み作り
=グリーンカラー

農業もできて、マーケティング・営業もできる“グリーンカラー”

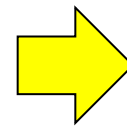
ブルーカラーは肉体労働を基本とした技術職、ホワイトカラーはマーケティング・営業などの総合職に主に使われる言葉です。これまで農業は「ブルーカラー」の職種に見られがちでした。しかし、これからの農業界は農業知識・スキルを保持しながら、かつ、スマートにマーケティングや営業を行うことができるビジネスパーソンが求められています。我々はこのような人材を「グリーンカラー」と呼び、日々社員教育しています。



ブルーカラー



ホワイトカラー



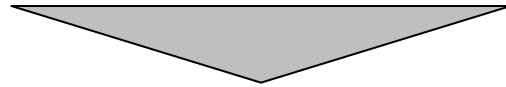
グリーンカラー

農業技術 × マーケティング・営業 = グリーンカラー

「20年後、あなたが望もうが、望むまいが、
現在の仕事のほとんどが機械によって代行される。」
by グーグルCEO ラリー・ページ氏

オックスフォード大学調べ

「20年以内に47%の仕事が機械で代行される」



農業分野の機械化も進む = 画一的生産体系に変化

→ より一層、各地域独自の「地の利」を付加価値に
転換する仕組みが求められる！

ただ作るだけではダメ。消費者が共感できるストーリー性を！

主な「消える職業」「なくなる職業」 ⇒ 農業も大幅に機械化

銀行の融資担当者	電話オペレーター	給与計算担当者
スポーツの審判	レジ係	娯楽施設案内役
不動産ブローカー	カジノのディーラー	ネイリスト
レストランの案内係	集金人	パラリーガル
保険の審査担当者	ホテルの受付係	電話販売員
動物のブリーダー	仕立屋	時計修理工
税務申告書代行	図書館の補助員	データ入力作業員
彫刻師	苦情の処理	簿記、会計、監査
検査・測定作業員	映像技師	カメラの修理工
金融機関のクレジットアナリスト	メガネ、コンタクトレンズの技術者	殺虫剤の混合、散布技術者
義歯制作技術者	測量技術者	造園・用地管理の作業員
建設機器のオペレーター	訪問販売員、路上新聞売、露天商人	塗装工、壁貼り職人

“MO本部”を中心としたマネジメントシステムを構築

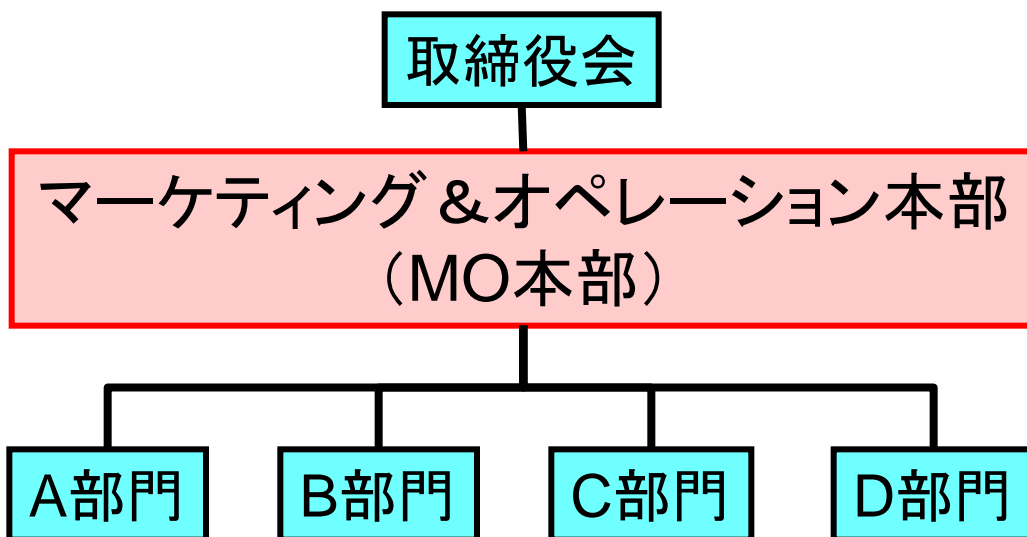
■MO本部を中心とした経営方針の決定

- ・マーケティング + オペレーション → スピーディな指示命令体制
- ・部門中心思考 = セクショナリズムの排除

■グリーンカラー人材の育成

= 優秀な人材をMO本部に登用する仕組み

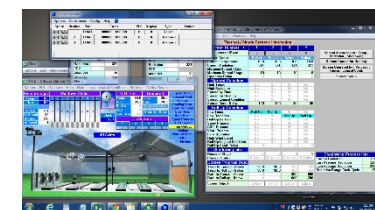
■IT技術を駆使したマネジメントシステムの構築



IT技術の農業利用



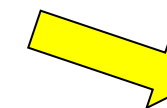
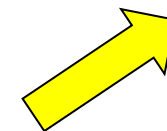
WEBカメラ活用



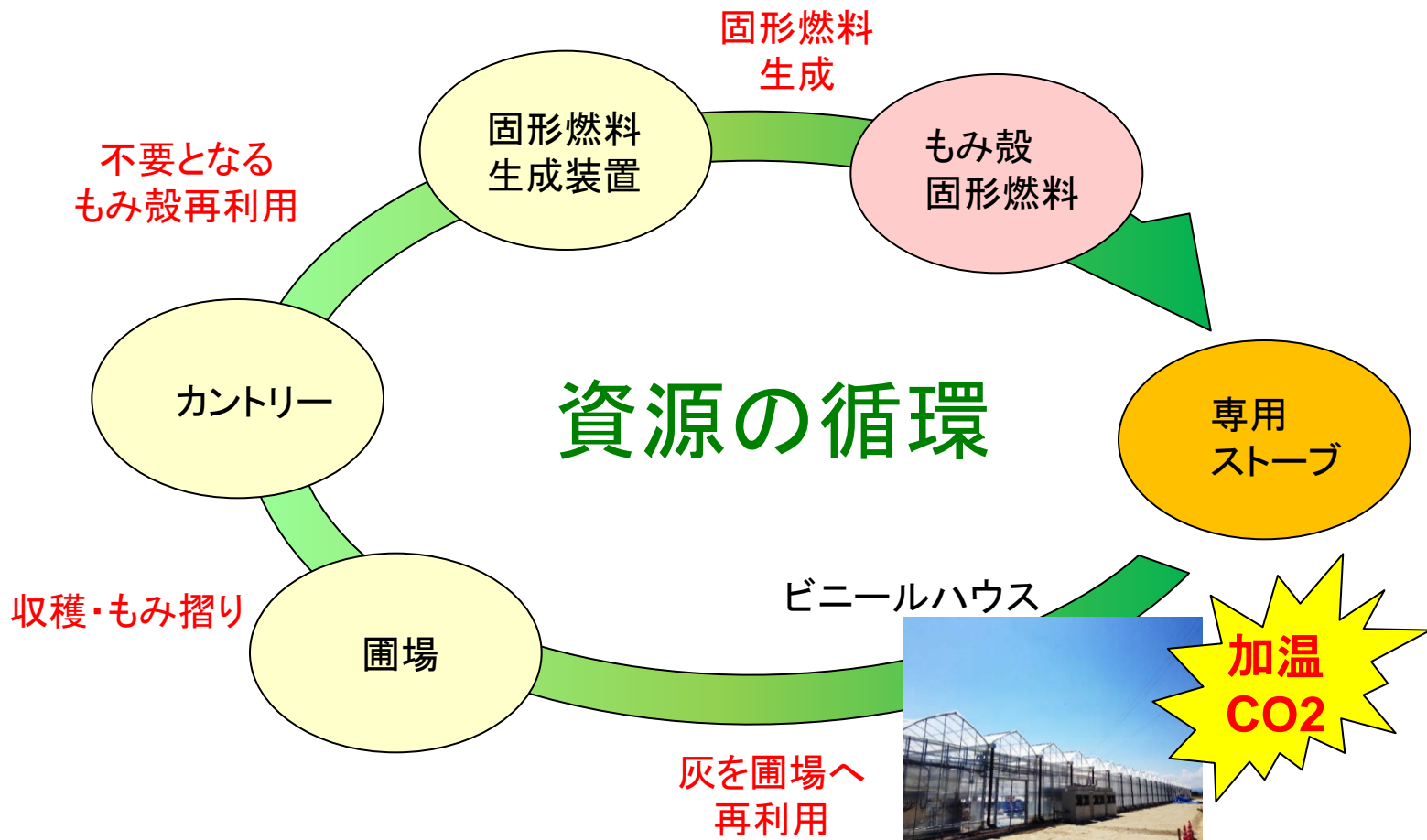
遠隔操作

管理システムによる
栽培環境の遠隔操作

管理・監視



“もみ殻固形燃料”を利用した電気光熱費の削減

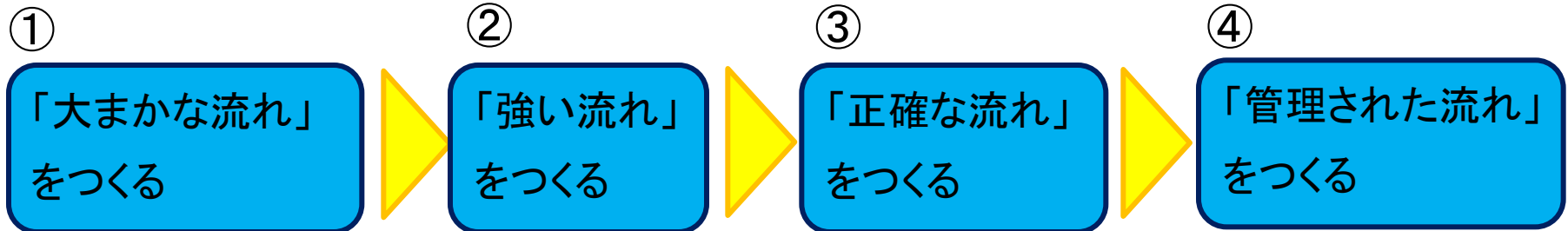


資源の循環を実現 ⇒ 全体を通しての固定費削減

「農家」⇒「農業経営者」 進化の必要条件！

「農家」が「農業経営者」へ進化するためには、「流れ」を作ることが大切。
「マスタープラン」作り上げ、週単位で管理していく。

安定的なサプライ・チェーンを構築



安定的な利益の仕組みを構築

→「マスタープラン」を作り上げ、継続的に週単位で管理していく仕組みが大切。

農業による「障がい者の就労支援活動」を積極的に行っています。

舞台ファームグループ「一般社団法人ステージパス」では、農業を通じて障がい者の就労支援を行っています。障がいの程度や状況に応じて様々な仕事にチャレンジする環境を作っています。緑あふれる環境の中、障がい者の皆さまをしっかりとサポートしていきます。



トマトの収穫・選果の様子



サラダハウレンソウの定植とパネル洗浄の様子

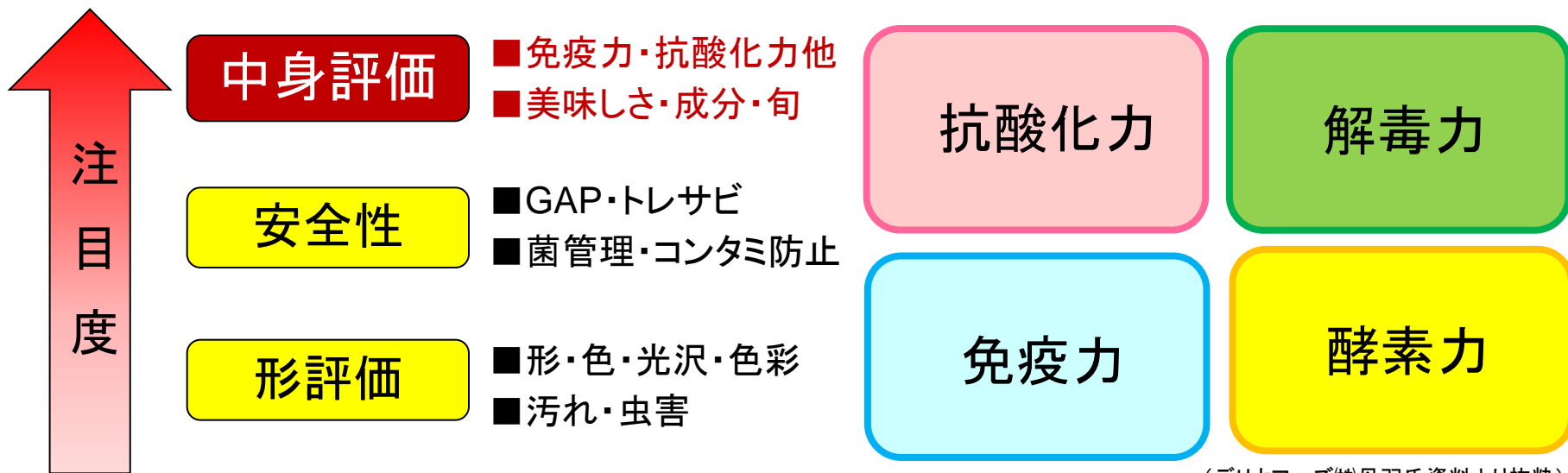
ユニバーサル・アグリプロジェクトとして活動を広げていきます。

2. 「野菜加工」の可能性 ～時代の求める価値とは？～

機能性野菜の栄養素を効率的に摂取する方法 = 生食がベスト

■ 摂取する野菜に含まれる栄養素や成分、効能で選ぶ時代に！

例) アントシアニンが通常の10倍多く含まれているミズナ
 カロテンが通常の3倍多く含まれているトマト、低カリウムレタス 等



安心・安全は「当たり前」の時代へ → 機能性の時代
 栄養素を壊さないように摂取 → 生食技術が必要

「カット野菜無人化自動製造ライン」による消費期限拡大

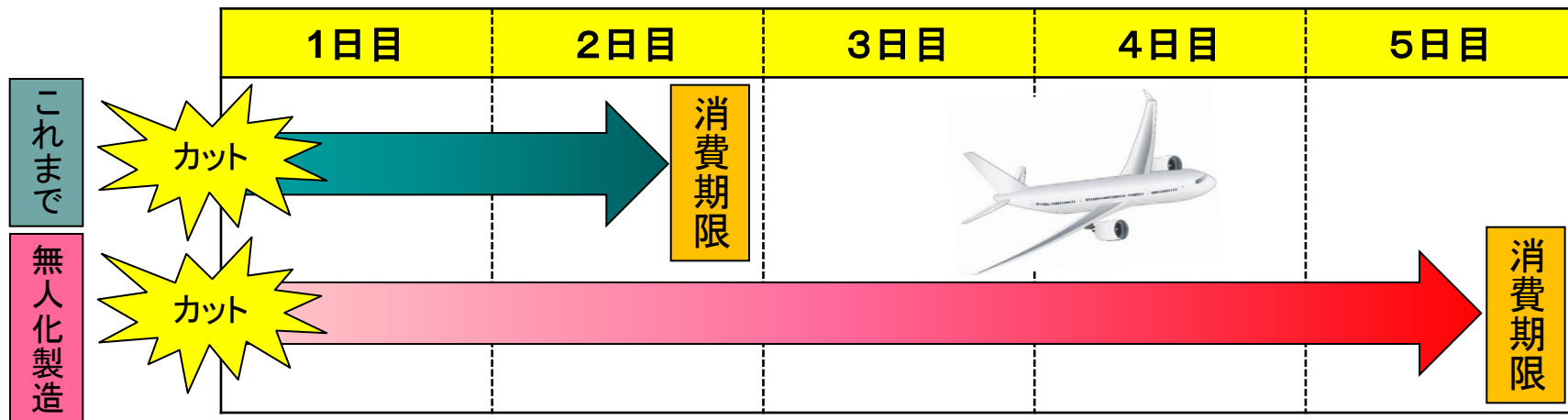
「全自動で野菜をカット」+「カット製造工程から配送後まで低温管理」

→ 細菌類を抑え、消費期限を大幅に延長 = **輸出も視野に！**



← 無人化自動製造・低温管理 →

低温での発送・流通



トマト棟



葉もの棟



所在地

仙台市宮城野区
蒲生字細川63

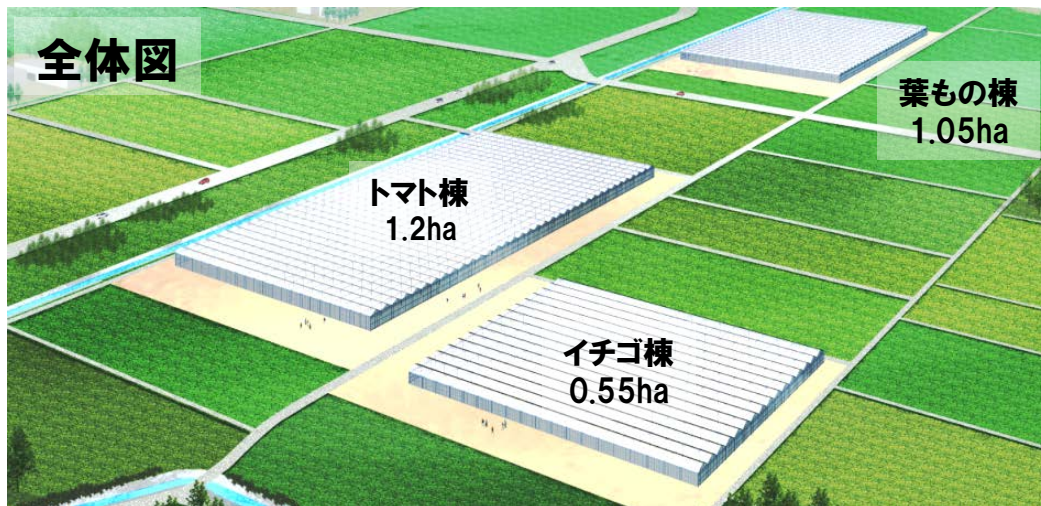
仙台駅から

距離： 11.1km

時間： 車で25分

※ google map より

全体図



イチゴ棟



2013年7月 仙台近郊 南蒲生の地に**総面積2.8haの植物工場竣工**





サラダほうれん草

エグミのない
生で食べられるほうれん草
目標生産量：150t/年



サンチュ

チャーハンなど炒めもので
の調理がオススメ
目標生産量：10t/年



苗テラス内部



仙台市西部(愛子地区)にて「密閉型植物工場」稼働！

■ 密閉型植物工場で、高品質で無農薬のベビーリーフを、安定的に生産していく。
(2014年7月竣工)

“ごとうリーフ”は安全・安心・無農薬

“ごとうリーフ”は、葉物野菜・レタス類・ハーブなどの
幼葉を数種類ミックスしたものです。

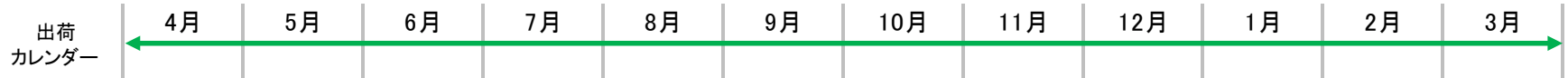
限りなく無菌に近い状態、そして農薬を
一切使わない環境で栽培されます。

日持ちが良く、栄養価にも優れています。

そして、想像をはるかに超える、

“風味豊かな”野菜です。

「一度食べたら忘れられない味わいだ」と、
多くのシェフからご好評いただいています。



3. コメの持つ 新しい可能性への挑戦！

2013年4月 舞台アグリノベーション(株)設立

- 2013年4月 アイリスオーヤマ(株)と(株)舞台ファームが共同出資し、精米事業会社「舞台アグリノベーション(株)」を設立。
- 東北ニュービジネス協議会で表彰を受けたことをきっかけに、大山会長に「精米事業」のプレゼンテーションを実施。
⇒ 農商工連携による復興支援、日本農業の改革を目指す！
- プレゼンから2ヶ月で会社設立！



農商工連携により、日本農業に「イノベーション」を起こす！

H26年7月 亶理に日本最大級の精米・貯蔵施設が稼働！

■H26年7月に宮城県亶理町に日本最大級の精米工場が竣工。

→約42,000tのお米を低温保管可能。年間約10万tの精米生産能力。

■”日本初” <低温倉庫⇒低温精米機⇒低温パック工場 = **トータルコールド製法**>

→美味しくて高品質を維持できる商品をご提供。



舞台アグリノベーション株式会社

・代表者:

代表取締役会長 大山健太郎

代表取締役社長 針生信夫

・設立日: 2013年4月22日

・資本金: 5,000万 ・従業員: 50名

・出資比率: アイリスオーヤマ(株):51%

(株)舞台ファーム:49%

・工場スペック: 年間10万t生産、42,000t低温備蓄

安心・安全への取り組み

■厳しい自主基準に基づく入荷検査

アイリスオーヤマでは、みなさまに安心・安全でおいしいお米を召し上がっていただくために、厳しい自主基準に基づき、検査を行っております。
一般的な検査だけでなく、品種や放射線量、残留農薬量、食味値など、あらゆる角度から検査を実施し、合格したお米だけをみなさまにお届けします。

品種の検査

- ・DNAによる品種判定

おいしさ(食味)にかかわる検査

- ・水分量
- ・整粒率
(※碎米等の被害米等を除いた完全粒の割合)
- ・食味値
(※タンパク質、アミロースなどの成分)
…など

安全にかかわる検査

- ・放射線量
- ・残留農薬量
- ・カドミウム含有量



低温製法

低温保管

低温精米

低温包装

甘み酵素活性
当社比 約20%アップ

※低温環境下での精米はα-アミラーゼ活性が約20%程度高まります。(舞台アグリノベーション(株)応用研究部調べ)





■脱酸素の新鮮小分けパック(3合)でいつでも新鮮。(無洗米もご用意)

■シリーズにパックスライス、包装切り餅も登場！

RIO東日本をシンクタンクとして、日本豪農米生産組合が派生

RIO
東日本

<シンクタンク機能>

- ・生産・販売・加工等の情報共有
- ・地域の特徴を生かした独自経営

※RIO東日本＝東日本コメ産業生産者連合会略称

日本
豪農米
生産組合

<生産現場>

- ・実践型農場経営
- ・コストダウンの仕組み作り

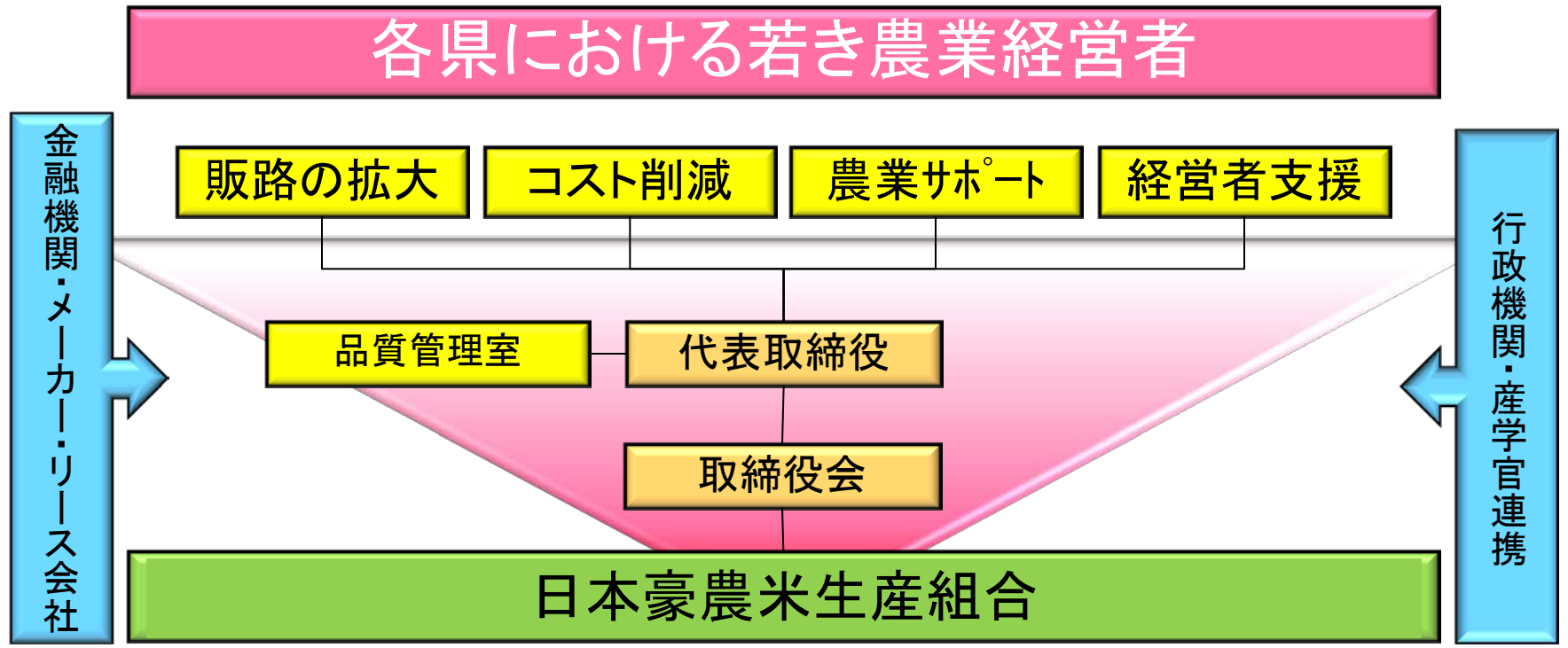
各地の
生産組合

日本豪農米生産組合

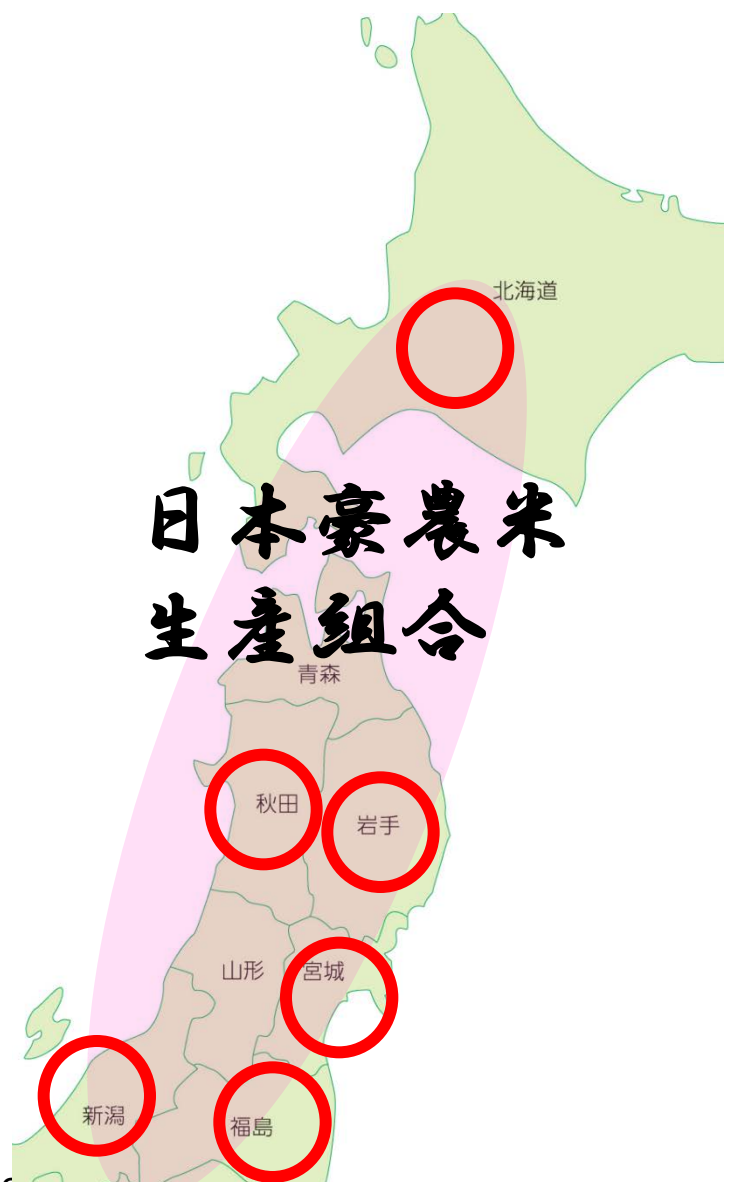
各地の生産組合
所属農家・農業法人

- 会長：生産組合長の中から選出
- 理事：各地の生産組合長(兼務)
- 事務局長：舞台ファーム 針生

“広域型農業者連携”の構築 → 広域連携によるシナジーを追及



次世代農業経営者の誕生 → ユーザーインの農業経営



<日本豪農米生産組合> ※名称はすべて仮称

- 新潟：新潟豪農米生産組合：120ha
- 秋田：秋田なまはげ米生産組合：130ha
- 北海道：北海道デッカトウ米生産組合：100ha
- 岩手：岩手巖美米生産組合：50ha
- 福島：福島あかべこ米生産組合：50ha
- 宮城：宮城みちのく米生産組合：50ha

各産地に地元のキーマンを中心に営農組合を設立
→ 販路を共に開拓、全国規模の有機的連携体に！

日本豪農米生産組合

- ・コシヒカリ
- ・あきたこまち
- ・ひとめぼれ
- ・ササニシキ
- ・つや姫
- ・ゆめぴりか
- ・ななつぼし
- ・もち米 他

売上は、“最大”に！
経費は、“最小”に！



- ★収穫増に繋がる生産法の共有
- ★有力な販路の構築
- ★共同購入によるコストダウン
- ★ITを高度利用した効率経営

“コストカット”と“やりがいと生きがい”を両立させる仕組み作りを目指す

＜究極のコスト削減＝やりがい・生きがいを守る＞

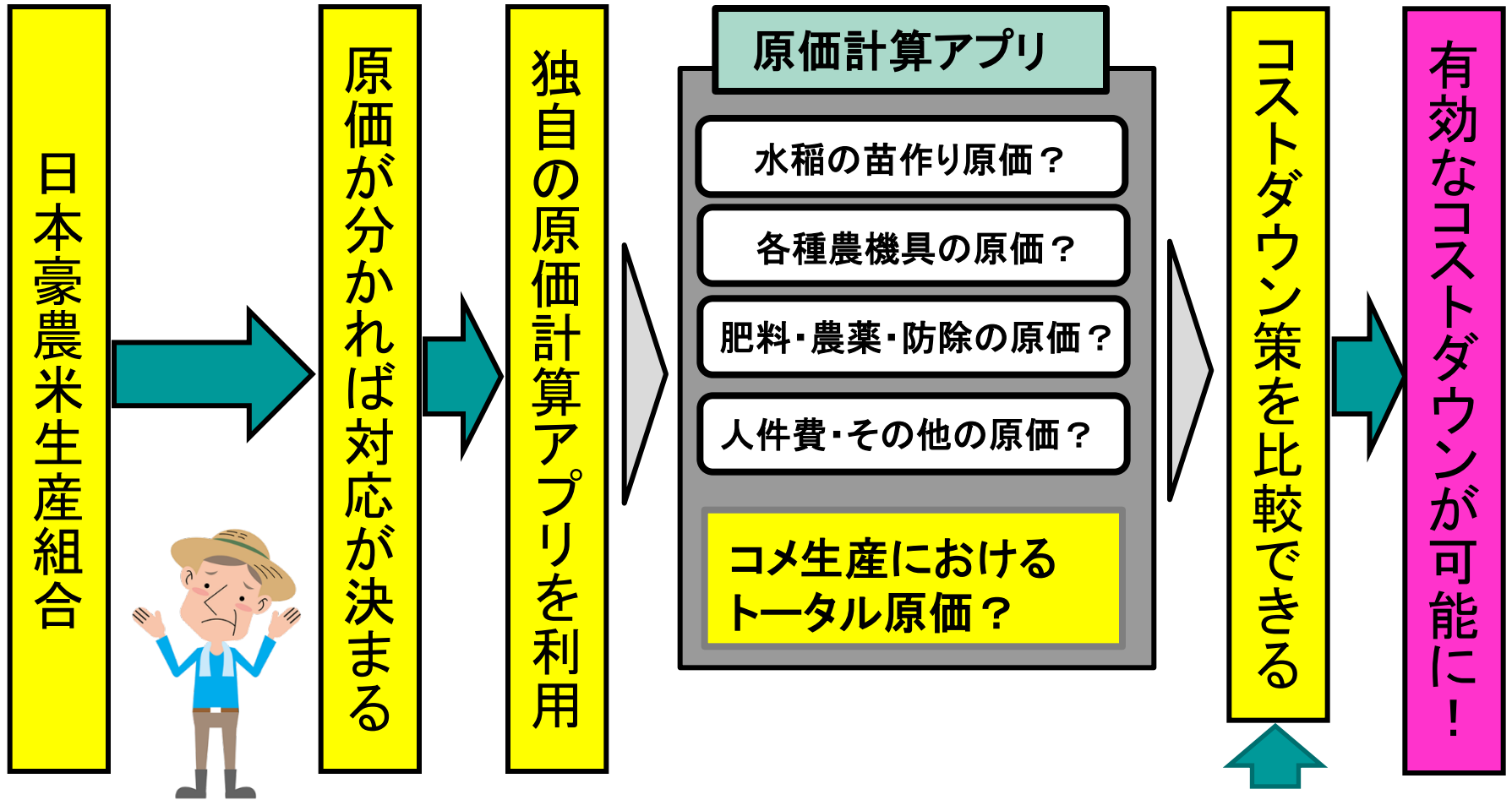
- ・農家のやる気、生きがいを失わないようにする
- ・自分の田んぼの自分のコメを自分で作りたい人
- ・TPP以降のスタンダードの一つとして要検討

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月						
既存のコメ作		土起し	播種	苗作り	代掻き	田植		水かけ	草刈り	追肥		稲刈り	籾摺り	乾燥	封入	検査・納品
		農家が全てを作業する！														
最強スキーム		土起し	播種	苗作り	代掻き	田植		水かけ	草刈り	追肥		稲刈り	籾摺り	乾燥	封入	検査・納品
農家		農家はここだけの作業！														
企業		<small>アウトソーシング</small> 代掻き・田植え企業 苗作り企業					<small>アウトソーシング</small> 稲刈り企業 籾摺り・精米会社									

既存のコメ作： 農家経費 = 農機具代 + 肥料代 + 人件費 <すべて>
 最強スキーム： 農家経費 = 外注委託費 + 人件費(一部) <限定的>

外注する企業においても競争原理が働く。 → 企業努力でコストが削減される

携帯アプリ「原価計算アプリ」を使用 → コストダウンへ！

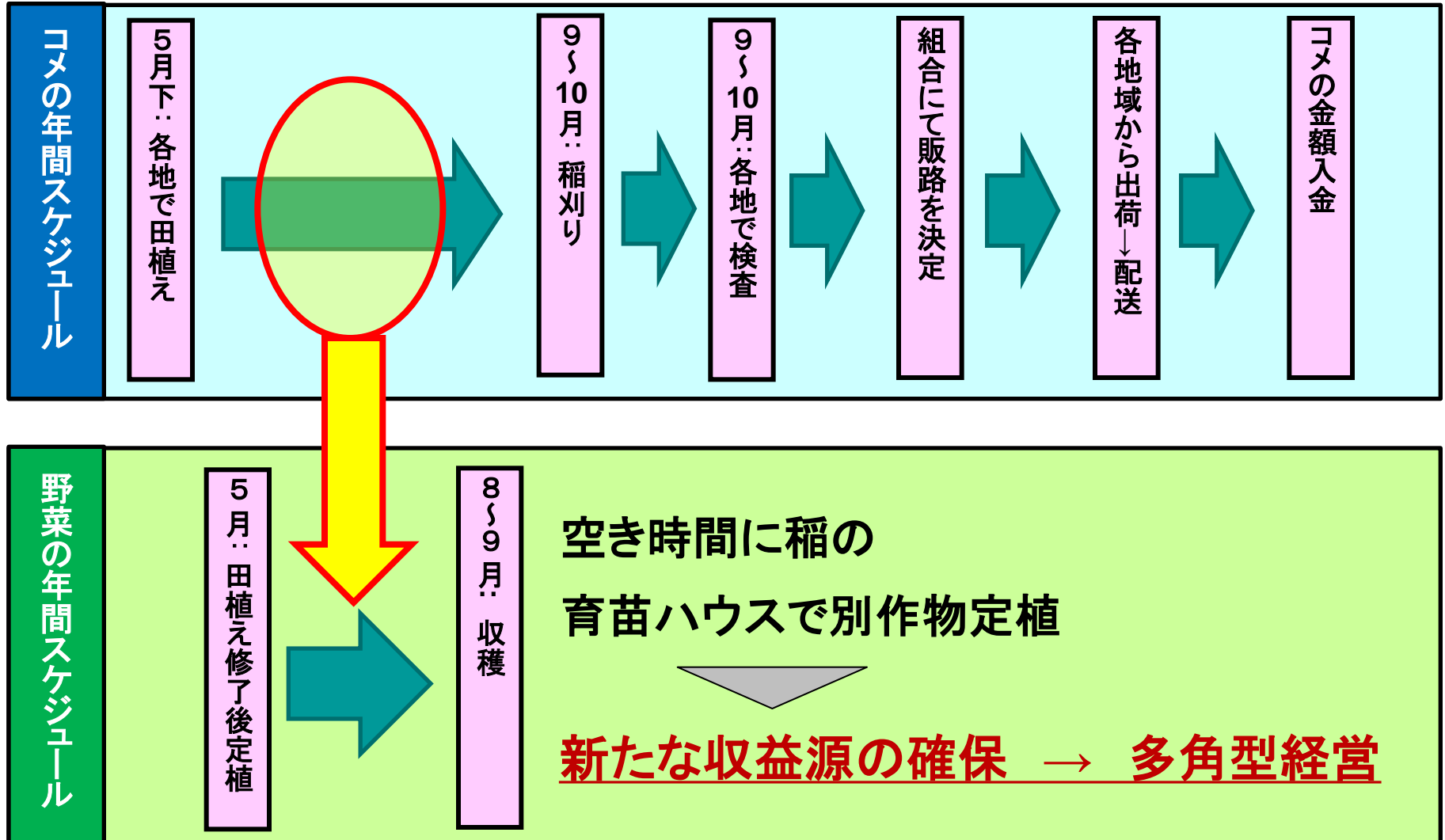


農家は原価がわからないことが多い

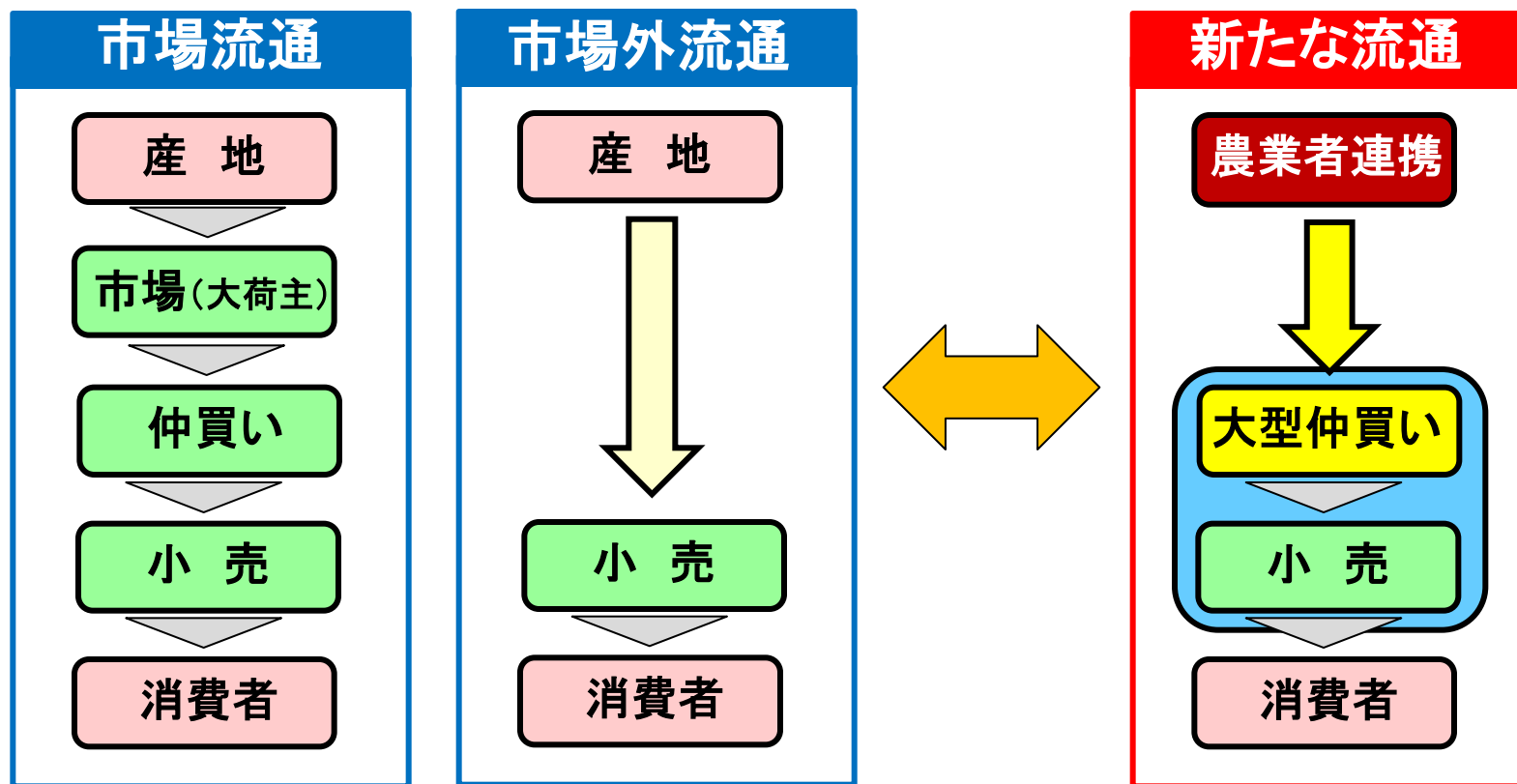
協議会からコストダウンの提案

- 収穫増に繋がる生産法の共有
- 共同購入
- 農機具共同利用

米だけではない多角型の経営を展開 → 新たな収入源の確保



「市場流通」「市場外流通」のメリットを抽出し「農業者連携」と連結



■市場流通： 売り先が多いが価格が不安定。

■市場外流通： 販路・価格は安定的だが、
小売の意向に左右される。

■販路： 大型の仲買いと個別連携
豊富な販路を活用

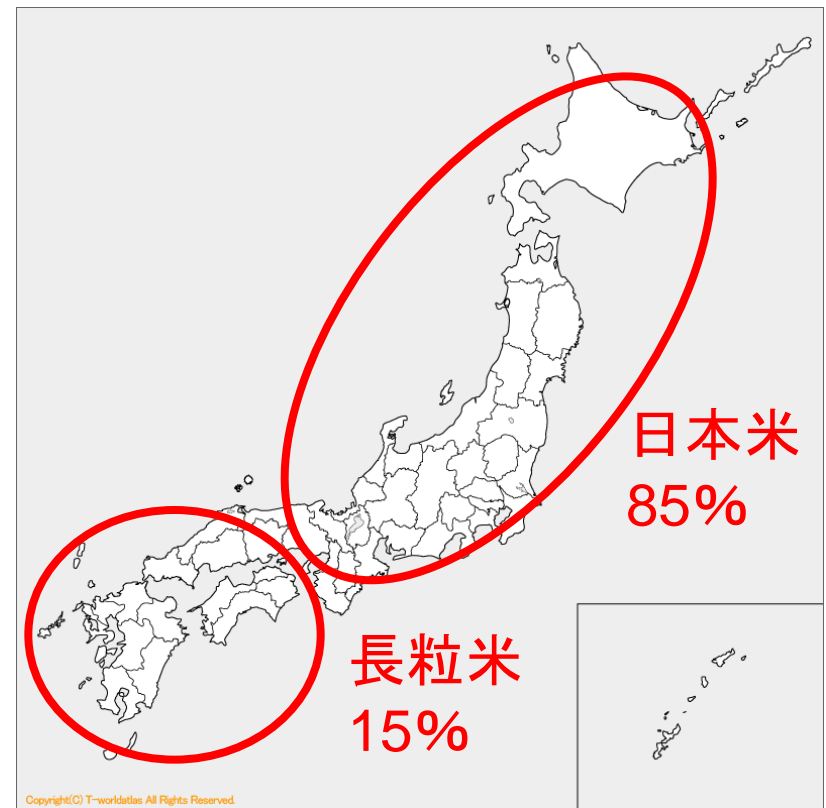
■価格： 市場より安定的

コメの輸出：日本式農業法で、安全な“長粒米”を作っては？

- 人類の総人口＝72.3億人（2015年2月） コメが主食＝約18.1億人（約25%）
 - ・ 約18.1億人の約95%＝ 長粒米を食べている（ドリア、炒飯・ピラフ、カレー等）
＝日本米は、世界標準ではないという事実！

- 日本の2014年コメ生産量＝約800万t
 - ・ 15%を長粒米にて生産：約120万t
 - ・ 日本式農法→軟水の水→安全な農地
→日本初となる安全な長粒米生産・輸出

“海外のおふくろの味”
→ 長粒米が基本



夢なき者に理想なし、
理想なき者に計画なし、
計画なき者に実行なし、
実行なき者に成功なし。
故に、夢なき者に成功なし。

